

家畜・畜産物GAP

農場運営

食品安全

環境保全

労働安全

人権・福祉

家畜衛生

アニマルウェルフェア

GAPとは… Good Agricultural Practice の略。
直訳すると「良い・農業の・やり方」となり、
農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・
福祉などの持続可能性を確保するための取組のこと

ヒヤリ・ハット及び農作業事故アンケートより…

昨年、宗谷の農業者を中心に、農作業中に“ヒヤリとした”体験や農作業中の事故事例についてアンケートを行いました。アンケートは、ご自身や身近な人の体験について、その時の状況を自由に記載していただきました。

今回は、その中からほ場作業に係るヒヤリ・ハット体験と事故事例をピックアップし、農作業安全対策について考えてみます。

よくある状況その1. “眠い”

早朝から搾乳や給餌、日中はびっちりほ場作業、夕方にまた搾乳や給餌、…
毎日繰り返していれば、疲労が蓄積します。

水分も補給しよう!

“原因は？”

十分な休息がとれないことによる“疲れ”と“寝不足”が多いようです。

“対策は？”

眠気を感じたら休憩を取ることが理想

- ・できれば数分でも作業を中断して、身体をリフレッシュしましょう。
- ・他の人との共同作業の場合は、あらかじめ休憩時間を決めておきましょう。



よくある状況その2. “確認不足”

やらなければならないことが沢山あったり、それらをいっぺんにやりこなそうとすると、機械の準備や周囲の確認がおろそかになりがちです。

“原因は？”

“メンテナンス不足”や“複数の作業を同時に行う”ことによるものが多いようです。

“対策は？”

余裕を持った
作業を！



事前に機械を点検、不具合がある場合は些細なものでも整備しておく

- ・整備・清掃も正しい手順・方法で行いましょう。
- ・死角を確認しておきましょう。
- ・危ない部位には目立つ印をつけるなどして、注意を喚起しましょう。

運転しながらの作業確認は、注意力が散漫になるので避ける

- ・わき見運転をするよりは、一旦停止しましょう。
- ・子どもは絶対に機械に近づけないようにしましょう。

よくある状況その3. “間違った効率化”

悪天候や機械トラブルで作業が遅れてくると、焦りなどから手順を省略して、遅れを取り戻したい！明日の作業を楽にしたい！という心理に陥りがちです。

“原因は？”

“過積載”や“エンジンを切らずに整備”して、少しでも作業時間を短縮したいという意識が働くようです。

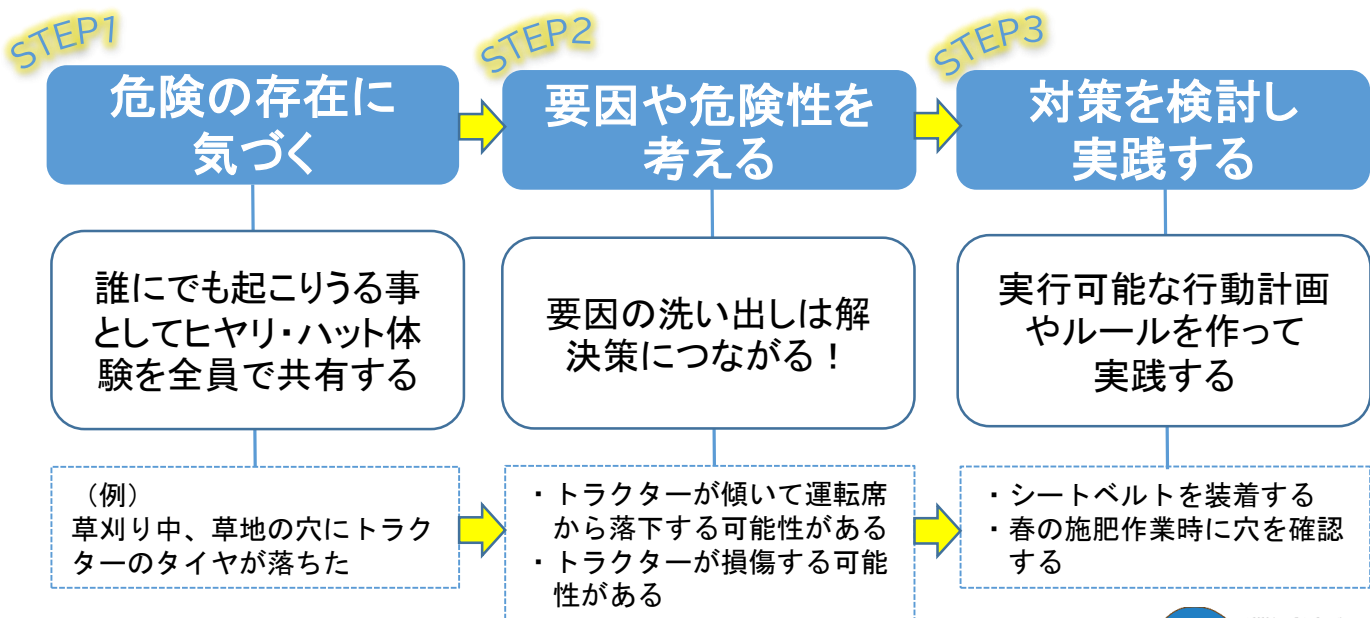
“対策は？”

平常時の心理と作業時の心理(急いでいる、焦っている時)は異なることを自覚する

- ・「まあいいか」と思ったら、本当に‘いい’のか今一度自分自身に聞いてみましょう。
- ・エンジンを切って作業をしてもそんなに時間は変わらないと認識しましょう。

ヒヤリ・ハットや事故発生の原因から…具体的な事故防止対策を！

ヒヤリ・ハット体験は一步間違えると重大な農作業事故となります。農作業事故は最悪の場合、大切な人を失ったり、農場経営が存続できなくなることもあります。ヒヤリ・ハットの原因を周りの人と共有して、「より具体的な事故防止対策」につなげることが大切です。



まずは、ヒヤリハット体験について
家族・仲間と話してみましょう

作業予定を家族や周りに伝えておくことも大切です。
事故のない農場運営につなげましょう。



過去の
GAP情報は
HPで！

お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター 本所(中頓別町) 電話:01634(6)1414
宗谷北部支所(豊富町) 電話:0162(82)2119

